

生命と人権を尊重し、良質かつ適切な医療を行います。

まほろば



2015.10
第170号

院内感染対策合同カンファレンスに参加して

平成27年度第2回院内感染対策合同カンファレンスが8月25日行われました。地域の感染対策ネットワークの強化と感染対策の底上げを目的とし、津軽地区では年4回合同カンファレンスが開催されます。今回は国立病院機構青森病院と弘前記念病院より、医師・薬剤師・臨床検査技師・看護師で構成される感染対策チームが当院を訪れ、整形外科病棟と手術室を巡視した後、意見交換を行いました。普段手術室スタッフが気付かない、良い点や改善が必要な点を様々指摘していただき、感染対

策に対する意識が高まると同時に、疑問や悩みについて話し合い、解決の手がかりとなりました。感染対策は、患者様に関わる医師や看護師、全てのスタッフが意識を高く持ち、チームが一丸となって取り組む必要があります。今回のカンファレンスで、改めてそのことを実感し、各施設が協力し合って感染対策に取り組むことの重要性を再認識いたしました。

中央手術室看護師長：長尾 愛佳



風の子保育園 運動会

9月19日看護学校講堂にて院内の風の子保育園運動会が行われました。たくさんの保護者、ご家族の方々の拍手に迎えられて元気いっぱいの入場行進が行われ、年長児の力強い選手宣誓、そして恒例の津軽弁バージョンのラジオ体操や「タッタカ♪たか丸くん」を踊り競技が始まりました。1. 2歳児は初めての運動会にもかかわらず、和やかな雰囲気に入れられ、全員が泣かずに参加できました。かわいいアリさんの姿でのおつかいも「トコトコ、よちよち」とゴール目指して頑張りました。日曜日の朝、TVでおなじみのニンニンジャーを元気に踊ってくれた3歳児は競技でも大好きな口ディーに乗って大活躍を見せてくれました。4. 5歳児は、弘前城曳家工事と題して競技を進め、祖父母の競技へとバトンタッチされ、じゃんけん

を楽しみながら弘前城曳家工事を一足早く、完了させていました。またダンスでは人気絶調の嵐「GUTS!」をカッコよく踊り、コンサート会場に負けないくらい盛り上げてくれました。子どもたちは今年もまた、たくさんの応援の中、自分の力を出し切って友だちと協力し最後まで頑張ることができました。そして、その頑張りを「気持ちいいね。楽しかったね。」と感じみんなで喜び合う事ができました。今日の運動会は子ども達を大きく成長させ、思い出に残る楽しい一日になったと思います。保護者のみなさんには、朝早くから準備や後片付けなどたくさんご協力を頂き本当にありがとうございました。今後とも宜しくお願い致します。

風の子保育園園長：内山 明子



看護学校レクリエーション in 男鹿

9月24日(木)、心地良い秋晴れの中、学校行事のレクリエーションとして男鹿市の男鹿水族館『GAO』に行ってきました。レクリエーションの場所としては初となりましたが、行先を決定する段階でレクリエーション系の学生が中心となり、早い時期から企画・準備を進めてきました。当日は片道3時間以上という長時間のバス移動となりましたが、学生たちはみんな元気いっぱいで仲間同士賑やかに過ごしていました。

水族館では、『GAO』名物のホッキョクグマの『豪

太くん』や『クルマちゃん』のどっしりとしつつも愛嬌ある姿に癒され、ペンギンの愛くるしい行動や珍しい種類の魚たちもじっくり鑑賞することができました。日々授業や実習で忙しく過ごしている学生にとって、ゆっくり水族館を満喫できたことは、今後の学習を頑張る活力につながったと思います。レクリエーションの目的である、クラスの間や教員との交流を深める絶好の機会となりました。

看護学校教員：平山 晴美



臨床工学技士のお仕事



はじめにこの資格についてですが、理学療法士や作業療法士などと同じ国家資格です。しかし、業務独占資格ではなく名称独占資格です。大学や短大などに通い、試験に合格して免許を取得します。

次に当院での仕事を以下に示します。

- 一部医療機器の中央管理
薬液を注入するポンプや成人用人工呼吸器など、各病棟で共通に使用できる機器の一元管理を行っています。それにより、各病棟で機器を購入していた従来に比べ、必要最低限の台数で機器の運用が可能となります。
- 医療機器安全管理料1 該当機器（人工呼吸器、

除細動器、閉鎖式保育器など）の保守管理。人工呼吸器や除細動器などを患者様に使用した場合、医療機器安全管理料1として一月に1,000円を請求させていただいております。そのため、各機器の点検計画書を作成し、それに則り点検を行い、安全の維持に努めております。

• その他

医師の指示のもとに顆粒球吸着療法、持続血液透析濾過、腹水濾過濃縮再静注法、ペースメーカーチェック、などを行っております。

最後に、職業倫理の高揚、学術技能の研鑽及び資質の向上を目指し、今後も努力してまいります。



主任臨床工学技士：谷川原 勝史

青年共同宿泊研修に参加して～コミュニケーションとは～



管理栄養士：仁和 愛里

日差しが照りつける7月、福島県は猪苗代湖の麓で、テレビもない、ラジオもない必要最低限しかない状況で、出身地も職種も異なる見知らぬ人たちの5日間の共同生活、まさに身をもってコミュニケーションを体験してきました。

コミュニケーションは「意思の伝達」であり、「聞く」ではなく「聴く」「寄り添う」等、相手のことを受け入れることが良好な人間関係をつくる基礎になるとのことでした。

人は9つの性格タイプに分けられ、どのタイプにも特徴・魅力があります。「この人と私は合わないわっ！」というのではなく、そのタイプに合った対応をすると、お互いが良い距離感で関係を築いていけるそうです。

その集大成である山登りは、残念ながら雨により中止となりましたが、人と接する上での大事なことを学ぶことができました。

まずは、笑顔で挨拶から始めたいと思います。

7月13～17日、第10回青年共同宿泊研修が行われました。研修には北海道東北グループ職員及び機構本部の職員を含めた32名が参加しました。初日は仙台医療センターにて本部及びグループの役割及び各病院との関わりについて学び、夜は意見交換会で他病院の職員達と交流を図りました。2日目からは福島県「国立磐梯青少年交流の家」へと移動し、人間関係とコミュニケーションについて講義を受けました。この研修は職務の遂行に必要な対人交渉能力を培うことを目的としていることもあり、講義の内容もグループワークがメインでした。看護師だけでなく理学療法士・臨床工学技士・薬剤師などの他職種と意見を交換したことで視野が広がった部分もあるため、これからの業務に活かしていきたいと思います。一つ残念だったことは、4日目に予定していた磐梯山登山が台風の影響で中止になってしまったことです。いつかリベンジしたいと思います。



7階病棟看護師：木立 遼太

外来診療一覽

◆外来医師診療一覽表 (2015年10月1日現在)

診療科	区分	月	火	水	木	金
循環器内科		熊本 秀樹	熊本 秀樹	熊本 秀樹	熊本 秀樹	熊本 秀樹
呼吸器科		中川 英之	山本 勝丸	中川 英之	山本 勝丸	中川 英之
		下山 亜矢子	下山 亜矢子	下山 亜矢子	下山 亜矢子	下山 亜矢子
消化器・血液内科		鎌田 耕輔	鎌田 耕輔	鎌田 耕輔	山形 亮	鎌田 耕輔
		松木 明彦	山形 亮	山形 亮	松木 明彦	山形 亮
		佐藤 年信	-	佐藤 年信	-	佐藤 年信
		石黒 陽	石黒 陽	-	石黒 陽	石黒 陽
小児科		杉本 和彦	佐藤 工	佐藤 啓	佐藤 工	杉本 和彦
		三上 珠希	岡本 剛	三上 珠希	岡本 剛	佐藤 啓
外科		田澤 俊幸	三上 勝也	田澤 俊幸	中井 款	三上 勝也
乳腺外科		小田桐 弘毅	小田桐 弘毅	小田桐 弘毅	櫻庭 弘康	小田桐 弘毅
整形外科	午前	三浦 和知 神 裕道 山内 良太	秋元 博之 三浦 和知 -	秋元 博之 三浦 和知 神 裕道	休診 (手術)	秋元 博之 三浦 和知 神 裕道
	午後	-	-	-		休診
脳神経外科		-	-	木村 正英	-	-
皮膚科	午前	熊野 高行 佐藤 正憲	佐藤 正憲 熊野 高行	佐藤 正憲 熊野 高行	熊野 高行 佐藤 正憲	熊野 高行 佐藤 正憲
	午後	● 予約	● 手術/検査	● 予約	● 手術/検査	● 予約
泌尿器科	午前	神村 典孝	神村 典孝	弘前大学医師	神村 典孝	神村 典孝
	午後	検査	検査	手術	検査	手術
産婦人科		谷口 綾亮	丹藤 伴江	丹藤 伴江	● 妊婦健診 (一般外来休診)	谷口 綾亮
		阿部 和弘	阿部 和弘	田中 加奈子		松村 由紀子
眼科		蒔苗 順義	蒔苗 順義	蒔苗 順義	蒔苗 順義	蒔苗 順義
耳鼻咽喉科		武田 育子	-	-	山本 洋平	-
放射線科	診断	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄	佐々木 幸雄
	治療	-	-	川口 英夫 (午後)	-	川口 英夫 (午後)
女性専用外来		杉本 菜穂子(※予約制/第1・第3火曜日午後診療)				
セカンドオピニオン		-	-	-	今 充	-

※ 学会、出張などにより担当医師が替わる場合があります。

今月の川柳

★川柳募集★ あなたの川柳をお待ちしています。

雲の波 秋が来たよと 寄せ返し

(無記名)

※掲載作品は広報誌編集委員会で選出したものです。

患者相談窓口

『患者相談室』のMSW(メディカルソーシャルワーカー)が対応していますので、お気軽にお尋ね下さい。

お知らせ

編集委員会より

当院の広報誌『まほろば』は、地域に信頼され、納得の医療で地域に貢献しつつ、地域と協働して歩む病院づくりを目指し、地域の方々を対象に編集しております。皆さまから病院に対して『不安なことや不満足なこと』『ご批判やご指摘』また、『お褒めのことば』を職員一同お待ちしております。

発行元



Hirosaki National Hospital
独立行政法人国立病院機構

弘前病院

責任者：副院長 小田桐 弘毅

〒036-8545 弘前市大字富野町1番地
TEL 0172-32-4311
FAX 0172-33-8614
URL <http://www.aoi-mori.net/~hirosaki/>